

ファツィオリの会に出演してみました

8月22日(日)、ベイタウンコアで開かれた第86回ファツィオリの会に、小学生の息子2人を出演させました。当日の朝、少し早めにコアに到着すると既にファツィオリの会スタッフの皆さんが会場準備に追われていました。客席用のいすを並べたり、マイクやプログラムのチェックをしたりと、数人のスタッフの皆さんが手際よく準備し、会場はあっという間に整えられていきました。もちろんコアのホール正面には光り輝くピアノ「ファツィオリ」が設置されています。

しばらくすると、参加の方がホールにやってきました。最初の2名は「非公開演奏」。演奏者や関係者以外はホールに立ち入れないので、私たちは外に出ました。

そしていよいよ「公開演奏」の時間になり、小3の次男、小4の長男が続けてヴァイオリンの演奏をしました。実はファツィオリの会に参加する数日前、自宅マンションの集客室で練習したのですが、集客室とは違って音がよく響き子供たち自身も驚いていました。場所が変わると全く響きが違ってするのがヴァイオリンです。コアのホールでは、決して強すぎない反響音があり、心地よく聞こえました。一曲ずつの演奏だったので出番は数分でしたが、本人たちはかなり緊張したようです。でも人前での緊張も、本番に至るまでの練習も、子供たちにとってはよい経験です。会場で聴いてくださっていた方からは演奏の感想を伺うことができ、会に参加して本当に良かったと思いました。

今回86回目を迎えたファツィオリの会を運営しているのは「ベイタウン音楽愛好会」の皆さん。完全なボランティアで、毎月第四日曜日の午前中に会を開催しています。今から約8年前、住民の要望でコアにピアノ「ファツィオリ」が導入されましたが、当初は有料コンサート以外ではあまり使われることがなかったそうです。そこで、住民が気軽にピアノを弾け、聴けるような環境を作ろうと「ファツィオリの会」を開催するようになったそうです。ファツィオリはイタリアで作られた名器で、何と日本には数台しか入っていない大変貴重なピアノです。イタリア国内でも滅多に見られないとのことで、「幻のピアノ」と呼ばれています。それが無料で弾けるとあって、ファツィオリの会には毎月多くの申し込みがあるそうです。もちろん、今回の息子たちのようにピアノ以外の楽器での出演も可能。公開演奏は誰でもホールで聴くことができます。出演者は、ピアノの発表会リハーサルのため、個人で練習した曲を人前で披露するため等目的はそれぞれなのですが、会に参加して得るものは多いため、リピーターになる人もかなりいるようです。

ファツィオリの会の存在を知ったのは今から数年前。参加できるのは「音楽レベルの相当高い子供たち」という印象がありました。しかし、ベイタウン音楽愛好会代表の大垣先生に詳しく話を伺うと、「子供から大人まで、誰でも気軽に参加できる会ですよ」とのこと。確かにプロ並みの演奏をする方もいますが、楽譜とにらめっこしながら「ポロン、ポロン」

と弾く方もいるそうです。

楽器というのは、人に声をかけられ愛されるほどいい音色になると言われています。コアに設置されたファツィオリが美しい音を奏でているのは住民に愛され大切にされているからなのではないかと思いました。楽器にとっても住民にとっても幸せなことですね。会に参加するのは初めてでしたが、これからも観客としてファツィオリを聴きに、コアに足を運びたいと思います。【城本】



打瀬中吹奏楽部が夏の大会で金賞を受賞

打瀬中学校の吹奏楽部(顧問:木全先生)は7月23日、千葉市青葉の森公園芸術文化ホールで行われた第52回千葉県吹奏楽コンクールで最高位の金賞を受賞した。

このコンクールは小学校から一般まで、全国の吹奏楽を行う部活やサークルが競うもので、特に中高生が部活で行うものとしては、運動部系の「夏の大会」にあたる。

打瀬中吹奏楽部は伝統的に女子が多い部活だ。現在の部員数62人は校内の最大勢力だが、部員はすべて女子。特に男子の入部を制限している訳ではないが、結果的にこうなるのだそうだ。

吹奏楽部を束ねるのは部長の根津さん(2年生)。部長は去ってゆく3年生が指名するのが慣例だそうで、根津さんも取材した数日前に退部した3年生から指名されたばかりだった。

根津さんは部長になり、すぐに新しいことをひとつ始めた。それは楽器練習の前に約30分ほどドラミングをすること。更に上を目指すには

最後は体力という思いがあったからだ。文化系の部活で女子ばかりというと静かな部活動をイメージしてしまうが、中学の吹奏楽部は体育系の部活にも負けないほどハードで活動的だ。

吹奏楽部は地域の活動にも積極的に参加している。8月28日に開かれた「夏祭り」では約30分にわたって見事な演奏を披露した(写真)。春のベイタウンまつりでは、コア・ホールで行われた「ハーモニーフェスタ」に参加している。【松村】



消防署の救急隊を取材 救急車に乗っているのはこんな人

水難事故や、熱中症の話題が多く取り上げられている猛暑厳しい折、救急隊員の皆さんに、日頃の活動状況などを取材しました。【文：板東・写真：金】

お話を聞いたのは、千葉市美浜消防署打瀬出張所の磯野勝巳消防司令補、伊達良之消防士長、川瀬晃樹消防士の皆さん。最初に、見かけることはあっても、乗る機会は無かったに救急車を見せて頂いた。車内には、ストレッチャー（折りたたみ式のたんか）の他に、心電図などの各種モニター、酸素吸入器やAEDなどがコンパクトに収められている。中には、子どもを落ち着かせるためのぬいぐるみもあった。

平成三年の救急救命士法の施行により、国家資格を持った救急救命士が1～2名同乗し、これまで医師にしかできなかった薬剤投与や気管挿管などの特定の医療行為も行えるようになった。これにより助かる命は増えてはいるが、心臓まひなどのケースでは、救急要請してから救急車が到着するまでの5分～10分の初動時の家庭での処置が重要だそう。たとえば昨年、就寝中に突然呼吸が止

まった父親に対し、小学6年の息子が119番の指令室員の指示通りに心臓マッサージを行い、奇跡的に命を救ったケースがある。こんな場合、ただちに救命処置を施さないと致死率は50%に達するという。日頃から、救命講習会等を受講して訓練しておくのがベストだが、未体験でも119番通報の際に救命処置のやり方等を口頭指導してもらえるので、とにかく落ち着いた対処が重要だ。

出動回数は昨年千葉市全体で45,205回、このうち打瀬出張所では2,168回のことだった。平均すると日に6回程度の計算となる。例年は冬場の方が多いが、今年は熱中症での要請も日に1件程度あり、夏場にも関わらず出動が多くなっている。出動回数のうち、ほぼ半数は診察の結果、幸いにも入院の必要のなかったものである。また、千葉市内全体の救急出動状況も概ね同様な状況といえるそうだ。

今年は、美浜区内の出動件数を含め、千葉市内全体の出動件数は、昨年と比べ増加傾向にあり、千葉市内に配置されている25台の救急自動車のうち、待機車両が1台となってしまったこともあるとのこと。我々がかける119番通報は、中央区の県庁そばの千葉市消防局の7階にある指令センターに入り、そこから最新鋭のコンピューターシステムにより、通報現場から最も近くに待機している救急自動車を選別し、出動させるそう。しかし、このように出動が多発した場合は、遠方に待機している救急自動車を出動させるこ



左から磯野さん、伊達さん、川瀬さん

ととなり、救急自動車が現場に到着するまで、時間がかかり過ぎてしまい、場合によっては、「救える命」も救うことができなくなってしまうことも十分考えられる。このことから、119番通報するときは、「自分のため」でなく、「他の人の命にかかわる」こともあるということ肝に銘じておくべきであろう。

さて、消防署員の皆さんの日常だが、隔日の24時間勤務（仮眠を含む）だそうだ。朝8時30分に勤務につき、前日の勤務者からの引き継ぎから、消防車や救急車の整備・点検や事務、防災・消火訓練などをしながら、指令があったらすぐに出勤できるように備えて、翌日の朝8時45分まで勤務している。24時間勤務に加えて、非番の日も大災害等で緊急連絡が入る可能性もあり、大変な仕事だ。

最後に、消防署から読者の皆さんへのお願い。「救急車を呼んだ際、もし手が空いていれば、戸外に出て到着した救急隊員を誘導してくれるとありがたい」とのことだった。エントランスがいくつもあるベータタウンのマンション構造を考えればうなずける話だ。いつもお世話になるか分からない救急車。日頃からの備えと、もしものときの落ち着いた行動を心がけよう。

覚えたイギリス国歌を原語で聞かせてくださいました。歌が好きで時々口ずさむそうです。-ご結婚されてからは？

嫁ぎ先は、造り酒屋でした。主人の家族と10人の子育てとで多忙な毎日でした。子どもの洋服は夜なべして自分自身で作りました。子どもたちには、自分のことは自分で決めるようにしつけました。こんなこともありました。娘（四女）が学校を卒業し、アメリカの学校にピアノの勉強に行きたと言い出しました。父に相談すれば断られると思いどうしたらよいかという。私は、そんなこと考えていないで入学試験を受けなさい、その合格通知を見ればダメとは言わないでしょ。案の定その通りになりました。これはほんの一例ですべてをそのように実行しました。でたらめな人生でした。

-お子様が何人か海外にお住まいですね

3人の娘が、一時、アメリカ、フランス、オーストリアに住んでいました。今はアメリカとフランスだけです。64歳の時初めて海外旅行を経験しました。行く先は、娘のいる三カ国です。自分で、パスポートやビザの取得から、ホテルの予約その他いろいろな準備を一人でした。その後アメリカ、フランスは数知れず、3か月間の世界一周の旅等々、94歳までに16回を数えました。海外旅行は、知らないこと、珍しいものがいっぱいで大好きです。（次号につづく）【落合】



所狭しと機材等が並ぶ救急車車内

Who's Who Vol.45

101歳 バンザイ！（その1）

セントラルパーク・ウエストにお住いの菰田かおるさん、私の住まいの1階下で自立しているスーパーシニアの女性です。最近、社会をにぎわしている100歳以上の高齢者の所在不明問題、これらの問題とは一切かわりがない正真正銘の101歳です。

5年ほど前に知り合いになり、そのお年寄りらしからぬお姿、考え方そして生活ぶりにはただただ感心しています。いつか、ぜひ皆さんにご紹介して、そのお人柄を知っていただき、何かを感じとっていただきたいの思いを持っていました。ちょうど、敬老週間や敬老の日のある9月号でその願いがかないました。

一世紀に亘るかおるさんのこれまでのすべ



こもだ 菰田かおるさん

てを紹介することはできません。その一部でも紹介できたらとインタビューし、来月号も含め2回に分けてご紹介します。インタビューにはお近くにお住まいのご長男（6番街在住）、次男（東金市在住）。そして、たまたまアメリカから帰国中の四女（ロサンゼルス在住）の3人のお子さんが立合ってくれました。-お生まれは？

愛媛県の西のはずれ、川之江市川滝町。今は四国中央市になっています。

7人兄弟で、長男、長女に次ぐ次女でした。実家は田畑、山林を所有しており、山あり川ありの土地柄で自然とともに暮らしているという生活でした。私は母と一緒に遠くの川まで洗濯に行ったり、父に連れて行かれてみかん畑に出かけたり、片道歩いて1時間以上のお店まで一人でお使いに行ったりとよく働きました。

生まれたのは、明治41年10月19日で、間もなく102歳になります。

-若い頃のお話をお聞かせください

中学を卒業後、どうしても県立の女学校に行きたくて隣の県、香川県の女学校に通いました。通学には1時間以上歩いて通い、よく勉強もしました。それがその後の10人の子育てなどにとっても役立ちました。※女学校で

フェアリーズが初の海外公演

ベイタウンの少年少女合唱団「フェアリーズ」(森本真由美代表)は8月18日から8月25日、米国ヒューストンとニューヨークで初の海外公演を行った。この公演は千葉市の姉妹都市であるヒューストンを文化使節として訪問したもの。ヒューストンでライス大学ダンカンリサイタルホールでのコンサートを行ったほか、ニューヨークでブロードウェイミュージカルの鑑賞も行った。

フェアリーズ・アメリカ遠征に参加して
長田美香(中2)

私たちフェアリーズは、8月18日から1週間、初の海外遠征を行いました。行き先はヒューストンとニューヨーク。千葉市の姉妹都市のヒューストンへは熊谷市長から「二つの都市を結ぶ親善大使となっ



9月のコア・イベント

9月18日(土) わくわくお話し会

わくわくお話し会 9月の常設お話し会

時間: 10:30~

場所: ベイタウン・コア 講習室(途中入場もできます)

今月もわくわくするお話、ゲームを用意してお待ちしています。年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひ来てね!

予約は不要です。** 読み手も募集中、見学歓迎 **

お問い合わせ先: 井上 (211-0188 wak2@yahoo.co.jp)

9月25日(土) 寺子屋工作ランド

「竹のふえ」と「竹トンボ」

時間: 9:30~11:30

場所: ベイタウン・コア 工芸室

持ってくるもの: ハサミ、のり、セロテープ、その他工作道具

参加費: 50円(保険料)

9月26日(日) ファツィオリの会

第87回ファツィオリの会

時間: 9:30~11:30

場所: ベイタウン・コア 音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」を弾いたり、他の楽器演奏や声楽・合唱などに使っていただくことができます。どうぞお申し込みください。

締切 9/19(日) 安永 043-271-5260

yasu602@ss.em-net.ne.jp

育成委員会 パトロール予定

9/25 午後9:00 打瀬小学校アリーナ前集合

どなたでも参加できます。男性に参加していただくと助かります。

4~9月は午後9:00開始、10~3月は午後8:00開始です。

場所は毎回打瀬小アリーナ前に集合です。

てください」と親書を預かって行きました。

親善演奏会が行われたダンカンリサイタルホールは、音響の良い素晴らしいホールで、外国人ばかりのお客様で不安もありましたが、皆温かく迎えてくれました。アンコールは発音を頑張って練習した「テキサスの黄色いバラ」です。会場全体と一緒に歌い、最後には、全員立ち上がって大きな拍手をしてくださり、とても感動しました。老人ホームでのコンサートでは皆さん楽しそうに手拍子したり踊ったり(なんと93才のおばあちゃま!!)してくれて嬉しかったです。日本総領事館でもご招待頂き演奏しました。立派な建物に最初は緊張しましたが、ここでも皆さんが笑顔で聴いて下さったので安心して歌えました。

ニューヨークではブロードウェイで「メアリー・ポピンズ」を観ました。本場のミュージカルは歌も踊りも素晴らしかったです。

この遠征で、歌は国境を越えて通じあえる素晴らしいものだとすることを身をもって体験しました。この感動をきっとこれからの活動に生かしていきたいと思います。

ラジオ体操子どもリーダーを終えて

ラジオ体操は毎年参加しています。そのリーダーになったことはとても光栄です。ラジオ体操リーダーの募集が学校でかかった時、そんなにやる気はありませんでした。しかしクラスの友達がやろうと言ってくれたのでやることにしました。やる気も出てきたしラジオ体操リーダーの実感がわきました。しかしさそってくれた友達は家族の予定があってリーダーをあきらめてしまいました。

ラジオ体操の練習会が始まった。友達のやりたい気持ちも持って参加しました。

本番は千人以上の人の前でやることも朝礼台の上でやることも始めの頃は緊張していました。楽しくできたし大変なときもありました。この経験をいかして次につなげたいです。【赤川 新】

ぼくはラジオ体操をほとんど知りませんでした。でもリーダーになると、細かいところまで教わり、楽しくラジオ体操を覚えることができました。

ラジオ体操の集合は6時15分なので、夏休みでも規則正しい生活が送れます。また、身体を動かすことが大好きなぼくでも、次の日筋肉痛になるほど、ラジオ体操はふだん使っていない筋肉も使う、すごい体操だと思いました。

ぼくの朝礼台当番は2日目でした。朝礼台の上からは、小さい子どもからお年寄りまでたくさんの人が見えて、しっかり体操をしようと思いました。

ラジオ体操リーダーになって、小学校生活最後の夏休みのいい思い出ができました。【小幡奏天】

存続が危ぶまれたラジオ体操ですが、ボランティアのみなさんの熱心な協力により、来年も実行できることになりました。ありがとうございました。

来年6年生になるみなさん。先輩達は今年よく頑張りました。来年は君たちの番です。学校で募集があったら勇気を出して来て下さい。

ベイタウン音楽愛好会からコアフェスタ出場者募集のお知らせ

来る11月21日(日)~23日(火・祝)初めてのコアフェスタが開催されます。

ベイタウン音楽愛好会は21日(日)の午前の時間帯をホール・ピアノを使わせていただき、ピアノやヴァイオリン、他の楽器、声楽などの演奏をして頂こうと企画しています。

演奏を希望される方は、どしどしお申し込み下さい。

連絡先: 大垣 tel&fax 276-3878

メールアドレス ymogaki@k4.dion.ne.jp

お申し込み締め切り日: 9月末日 但し時間に制限がありますので、ファツィオリの会同様、一杯になり次第締め切らせて頂きます。

ニュース恒例カレーパーティー

8月7日(土)、ベイトウンニュース主催の「カレーパーティー」が、コアの中庭で開かれました。これは、毎月発行される本誌「ベイトウンニュース」を皆さんのお宅のメールボックスに配布していただいているサポーター(ボランティア)の方たちの労をねぎらい、日頃の感謝の気持ちを込めて行っているものです。今年も調理室を使って、4種類のカレーを有志が作り、1皿100円でふるまいました。

ちなみにどんなカレーかというと、海浜小わくわくキャンパス旧事務局のお母さんたちによる「夏野菜カレー」。夏野菜と桃、梨を煮込み、隠し味にチョコレートを入れた季節感あふれるカレーです。シータワーから参加してくれた「M家のお父さんカレー」。チキン、トマト、玉ねぎに、秘密の(!?)隠し味ブルーネを入れた、インドの香りがしてきそうな本格チキンカレーです。



さらには、毎年カレーを作ってくれている学童保育OGのグループ「愉快的仲間たち」は、今年はワインで煮込んだ柔らかくビーフが食欲をそそるビーフカレーを作りました。この日急遽参加してくれた、ラジオ体操リーダーとそのお友だちが作った「小学生カレー」は、ナス、ジャガイモなどの野菜をトマトジュースとカレールーで煮込んだ、こちらもなかなかの味。美味しいカレーを味わいながら、まだ暑さの残る夏の宵を賑やかに過ごしました。

カレーパーティーはもともとコア(公民館)の中庭をもっと活用したいという読者の要望から、ベイトウンニュースが夏の夕涼みのイベントとして企画したのが始まりです。残念ながら中庭の大々的なイベントが継続して行われることはありませんでしたが、ベイトウンニュースのサポーターの慰労と懇親のカレーパーティーだけが残りました。このパーティーは来年も行われる予定です。参加資格は「1回でもベイトウンニュースを配ったことがある人」です。ベイトウンニュースを配ってカレーパーティーに参加しよう。

「夏休みお絵描きコンテスト」 受賞発表

7月号で案内したベイトウンニュースとホテル ザ・マンハッタン共催の「夏休みお絵描きコンテスト」が終了しました。

このコンテストはマンハッタンの開業15周年を記念して2006年にスタートし今年

第5回でした。

審査結果は下記の通りです。受賞した合計9点の入選作品を、9/4(土)~9/30(木)マンハッタン内に展示しています。

マンハッタン賞

子供の部

今井朝萌さん(8才)「夕日でかがやくマンハッタン」

一般の部

高野由紀さん「いろいろな顔のマンハッタン」

その他 総支配人賞 2名様、特別審査員賞 1名様、ベストパフォーマンス賞 4名様



神田外語大学グループの児童英語教室 神田外語キッズクラブ



フリーダイヤル 0120-154-815

<http://www.kidsclub.co.jp>



言語専門・神田外語大学のメソッドで、年齢にあわせて4つのスキル(聞く・話す・読む・書く)が習得できます。自分の意思を英語で伝えることの出来る「小さな国際人」を育成します。運動会(写真)やハロウィンなど、沢山の外国人と触れ合うイベントも盛りだくさん。玉入れでは子ども VS 大人で対戦。入った玉の数は、もちろん英語で数えます!

☆体験レッスン☆

9月9日(木)~25日(土)

*時間帯はお問合せ下さい。

対象: 0歳~12歳

日本人講師コース

または

外国人講師コース

(年齢によって、日本人講師とのペアレッスン)

☆9月中のご入会の方☆

子ども手当キャンペーン

1. 入会金無料!(通常10,500円)

2. 教材費 13,000円(税込)!!

(幼稚園児以上で使用する

通常27,300円のセット教材。)

神田外語大学内の
教室です。

